

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010101

事業名		創業促進・商業にぎわい事業			担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>		
	予算・決算額(A)		20,864	17,999				23,035	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	14,300	10,932				11,600	
		一般財源	6,564	7,067				11,435	
	人件費(B)		4,446	4,446				4,446	
事業費計(A+B)		25,310	22,445	27,481					
事業の目的		市内商店会における商店街振興策の実施促進、商店会店舗の魅力向上、空き店舗の活用、創業者への支援等によって、市内商店街の活性化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 イベント・環境整備等助成事業 商店会が行う環境整備（花壇整備等）や加入促進、イベント開催など商店街活性化に係る事業等の経費の一部を助成しました。</p> <p>2 店舗改装費補助事業 市内全域の店舗を対象に、自店舗の魅力向上又は来店者の増加につながるような改装工事を市内施工業者を利用して行う者に対し、その費用の一部を補助しました。</p> <p>3 空き店舗活用事業 市内商店会の空き店舗を活用して、小売業や飲食サービス業、生活関連サービス業等の店舗を運営する事業者に対し、家賃や移転改装費の一部を補助しました。</p> <p>4 創業サポート事業 創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、本市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図りました。</p> <p>5 空き店舗調査業務 空き店舗活用を促進するため、空き店舗の調査業務を委託し、市内全域の空き店舗情報を、市ホームページに掲載しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		イベント・環境整備等助成金			件	26	18	29	
		空き店舗活用事業			件	15	17	13	
		創業サポート事業補助金			件	34	23	21	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				イベント支援や環境整備支援など、商店街の営業継続に対し有効に活用されたため、「4」としました。			
効率性		●				各補助金の申請を受け付けた際に、別で活用できる補助金がある場合は併せて案内したことから、「4」としました。			
公平性			●			空き店舗活用事業は、中心市街地とその他の地域で補助率に差があり、一部公平性に欠ける部分もあることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		助成・補助件数は堅調に推移しており、各商店会や事業者等のニーズに沿った事業内容であると考えます。今後も社会状況や地域課題の変化に対応した効果的な振興策を実施するため、適宜見直しを行うとともに、広く周知を図っていきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010102

事業名		中小企業振興資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		365,000	338,900			700,000		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	365,000	338,900			700,000		
		一般財源							
	人件費(B)		720	720			720		
事業費計(A+B)		365,720	339,620	700,720					
事業の目的		中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等</li> <li>融資金額 運転資金：4,000万円以内、設備資金：4,000万円以内</li> <li>融資利率 1年以内：年1.3%、1年超5年以内：年1.9%、5年超：年2.0%</li> <li>融資期間 運転資金：10年以内、設備資金：12年以内</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		融資金額		千円	708,300	878,040	918,170		
		融資件数		件	53	58	55		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				本資金は、市内中小企業者に広く活用されていることから、「4」としました。			
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内中小企業者に広く活用されており、市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010103

事業名		小規模企業経営改善資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		900,000	900,000			1,130,000		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	900,000	900,000			1,130,000		
		一般財源							
	人件費(B)		720	720			720		
事業費計(A+B)		900,720	900,720	1,130,720					
事業の目的		小規模企業者等に対し、事業活動に必要な資金調達の融資の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 融資対象 常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事務所があり、かつ市税を完納していること</p> <p>2 融資金額 運転資金：2,000万円以内、設備資金：2,000万円以内</p> <p>3 融資利率 1年以内：年0.9%、1年超：年1.5%</p> <p>4 融資期間 運転資金：7年以内、設備資金：15年以内</p> <p>5 その他 資本金の額が1,000万円以下かつ、常時使用従業員数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあたっては5人、医療を主業とする法人にあたっては20人）以下の小規模企業者は信用保証料補給制度の対象となります。（上限30万円）</p>							
		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		融資金額			千円	1,288,640	1,735,010	1,422,370	
		融資件数			件	148	182	136	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				本資金は、市内小規模企業者等に広く活用されていることから、「4」としました。			
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性		●				市内小規模企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内小規模企業者等に広く活用されており、市内小規模企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010104

事業名		中小企業協同化資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		80,000	80,000			-		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	80,000	80,000					
		一般財源							
	人件費(B)		504	504			-		
事業費計(A+B)		80,504	80,504	-					
事業の目的		中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資することを目的とします。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>融資対象 事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者等を対象とします。</li> <li>融資条件 商工組合中央金庫の定めるところによります。</li> <li>申込場所 商工組合中央金庫札幌支店（代理店は北央信用組合の市内支店）</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		融資金額		千円	1,798,000	1,125,000	1,819,000		
		融資件数		件	28	23	23		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				本資金は、市内中小企業者等における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。			
効率性		●				事業費の大半は商工中金札幌支店への預託金ですが、翌年度当初に全額回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		<p>本資金の取扱金融機関である商工中金は、政府が出資する政府系金融機関でありましたが、令和7年度から完全民営化することとなりました。市の中小企業者向け融資は、市内の金融機関に限り取扱いを認めており、民営化後も本市に支店がない商工中金だけを取扱機関とした場合、他の金融機関との公平性を確保できないことや、組合等の資金需要に対しては、他の融資制度でも対応できることから、令和6年度をもって本事業を終了しました。</p>					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010105

事業名		中小企業機械等購入資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	8,000	1,100	40,000				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	8,000	1,100					40,000
		一般財源							
	人件費(B)	504	504	504					
事業費計(A+B)	8,504	1,604	40,504						
事業の目的	中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、中小企業者等の振興、育成を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等</p> <p>2 資金使途 設備資金：生産、加工、試験または検査に使用する機械等の設置</p> <p>3 融資金額 2,000万円以内</p> <p>4 融資利率 年1.6%</p> <p>5 融資期間 10年以内</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	融資金額		千円	0	0	0			
	融資件数		件	0	0	0			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性		●		本資金は、市内中小企業者等の機械等設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数0件が続いていることから、「2」としました。				
	効率性	●			事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。				
公平性		●		市内中小企業者等のうち、機械等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性	本資金は、機械等の設備投資を行う市内中小企業者等における資金調達の一翼を担っておりますが、市内中小企業者等にとって、より実用性の高い事業となるよう、制度の周知や関係機関からのヒアリングを強化するなど、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010106

事業名		店舗近代化設備資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		70,000	43,900			70,000		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	70,000	43,900			70,000		
		一般財源							
	人件費(B)		504	504			504		
事業費計(A+B)		70,504	44,404	70,504					
事業の目的		中小事業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 融資対象 市内中小事業者のうち、常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等</p> <p>2 資金使途 (1) 店舗の新築、増改築資金 (2) 組合が行う共同店舗建設資金 (3) テナント入店に要する内装設備資金 (4) 不動産等購入資金</p> <p>3 融資金額 1 企業5,000万円以内、1 組合8,000万円以内（テナント入店資金2,000万円以内）</p> <p>4 融資利率 年1.4%</p> <p>5 融資期間 15年以内</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		融資金額			千円	0	50,000	50,000	
		融資件数			件	0	1	1	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				本資金は、市内中小事業者の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。			
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性			●			市内中小企業者のうち、店舗の新築・増改築資金等の設備投資を行う中小商業者に限定していることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本資金は、店舗新築等の設備投資を行う市内中小事業者における資金調達の一翼を担っており、市内中小事業者の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010107

事業名		中小企業環境保全施設資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		15,000	0			60,000		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	15,000				60,000		
		一般財源							
	人件費(B)		504	504			504		
事業費計(A+B)		15,504	504	60,504					
事業の目的		中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、中小企業者等の振興を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等  2 融資金額 設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内 ・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費 ・公害防止のため工場等を移転するための建設、設置等に要する経費 ・産業廃棄物の処理、資源化、再利用のための施設の設置・改善に要する経費 ・二酸化炭素排出量の削減に有効な施設等を導入する経費 ・再生可能エネルギーを活用する施設を導入する経費 次世代自動車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ・次世代自動車(電気自動車、ハイブリット車、天然ガス車等)の購入経費及びその燃料 ・供給施設設置経費  3 融資利率 年1.3% 4 融資期間 10年以内							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		融資金額		千円	0	0	0		
		融資件数		件	0	0	0		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性				●		本資金は、市内中小企業者等の公害防止設備等の設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数0件が続いていることから、「2」としました。			
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性			●			市内中小企業者等のうち、公害防止設備等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本資金は、公害防止やゼロカーボンに向けた環境負荷低減の設備投資を行う市内中小企業者等の資金調達の一翼を担っておりますが、より実用性の高い事業となるよう、令和7年度からは本資金を信用保証料補給金の対象に追加しており、今後も事業内容の見直し含め、市内金融機関と連携した取組が必要と考えております。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010108

事業名		小規模企業経営改善資金信用保証料補給金		担当部署	産業経済部 商業振興課					
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	20,000	15,465	20,000				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	20,000	15,465					20,000	
	人件費(B)	720	720	720						
	事業費計(A+B)	20,720	16,185	20,720						
事業の目的		小規模企業経営改善資金を借入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者の健全な経営に資することを目的とします。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>信用保証料の補給対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業に当たっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人）以下の会社又は個人</li> <li>小規模企業経営改善資金に限定</li> <li>運転資金と設備資金の資金使途ごとに区分して、それぞれ適用</li> </ul> </li> <li>信用保証料の限度額 運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給</li> <li>信用保証料の補給金の返納 信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、一部又は全部を繰上返済したことにより約定貸付期間が繰り上がり、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、小規模企業者が負担した信用保証料を差し引いた、その返戻分について、市へ返納するものとします。</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		補給金額		千円	18,869	23,778	15,465			
		補給件数		件	116	136	98			
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3	2	1					
有効性		●				本事業は、小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。				
効率性		●				小規模企業経営改善資金を利用した融資に係る信用保証料を対象としており、小規模企業経営改善資金貸付金との相乗効果により、効果的に円滑な資金調達の支援を行うことができているため、「4」としました。				
公平性			●			小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者のみを対象としていることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		本事業により、小規模企業者が小規模企業経営改善資金を借り入れた際に発生した信用保証料を補給することによって、事業者の資金繰りに重要な役割を果たしているものです。令和7年度からは中小企業環境保全施設資金貸付金も本制度の対象に追加しており、今後も円滑な資金繰りの一助となるよう市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010109

事業名		中小企業振興事業		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)		1,324	1,141	1,324			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	700	693	700						
		一般財源	624	448	624						
	人件費(B)		3,601	3,601	3,601						
	事業費計(A+B)		4,925	4,742	4,925						
事業の目的		中小企業振興条例及び第二次中小企業振興計画に基づき、中小・小規模事業者のニーズや抱えている課題等を把握するとともに、計画内容の実現に向けた施策を継続的に実施して中小・小規模事業者の振興を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>1 中小企業振興審議会 第二次中小企業振興計画の進捗管理や計画に基づいた有効な支援策等について審議を行いました。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>2 中小企業振興セミナーの開催 中小企業振興計画の三本柱である創業、人材育成、販路拡大の課題解決のため、市内中小企業等のICTの利活用を促進するとともに、ICTを活用する事業者コミュニティを創出させることを目的として、ICTセミナーを計10回開催いたしました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度				
		中小企業振興審議会		回	4	4	4				
		中小企業振興セミナー参加者（延べ人数）		人	91	65	67				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性		●				本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催すると共に、ニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施しており、市の中小企業施策の中心を担っていることから「4」としました。					
効率性		●				事業費の大半が審議会委員への報酬と中小企業振興事業に係る委託料であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。					
公平性		●				審議会は中小企業振興条例に基づき、中小企業団体を中心に有識者や市民等幅広い人材で構成され実施していることから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		市内中小・小規模事業者の振興に向け、中小企業振興条例に基づく中小企業振興審議会等により、有効な市の支援策について継続的に審議・議論し、ニーズに応じた中小企業推進事業を継続的に実施してまいります。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010110

事業名		中小企業人材育成補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)		744	730	744			
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		744	730	744			
	人件費(B)		720	720	720			
事業費計(A+B)		1,464	1,450	1,464				
事業の目的		中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、中小企業人材育成補助金を交付し、中小企業の人材育成の促進を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標  		<p>中小企業の事業主が経営力・技術力強化のため、従業員等に受講させた中小企業大学校旭川校などの講座受講料の一部を補助しました。また、市内でサテライトゼミを開催し、市外からの参加者を含め54人が参加しました。</p> <p>1 補助要件                      (1) 本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること                      (2) 本市の市税に滞納がないこと                      (3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること</p> <p>2 補助上限額                      (1) 市外開催 2万円                      (2) 市内開催 WEB開催 1万5千円                      ※受講料が上限額を超えない場合はその実額                      1事業所につき、年間10万円上限としています。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度
		研修受講人数（補助金交付件数）			人	28	15	42
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			本事業は市内企業の人材育成・経営基盤の強化に寄与しているものの、即効性の高い事業ではないため、「3」としました。		
効率性		●				市内でサテライトゼミを開催することで、中小企業大学校旭川校での受講より、事業者の距離的・時間的負担の軽減を図っていることから「4」としました。		
公平性		●				市内に事業所又は事務所がある中小企業を広く対象としていることから「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠です。研修の受講の周知を図り、人材育成の促進を図ってまいります。					事業終了の 予定の有無  無	
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010111

事業名		苦小牧地域産業力強化補助			担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>		
	予算・決算額(A)		500	500	500				
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
	一般財源		500	500	500				
	人件費(B)		72	72	72				
事業費計(A+B)		572	572	572					
事業の目的		自社のみでは解決できない課題を抱える中小企業に、（公財）道央産業振興財団の利用拡大・促進を図り、企業の課題を把握するとともに財団が持つ産学官金ネットワークを活用し、国・道・市などが実施する各種制度の活用を支援し、苦小牧地域の産業技術の高度化を図ります。							
事業の内容  SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">  <p>8 成長がもたらす経済成長も</p> </div> <div>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>（公財）道央産業振興財団が行う次の事業に対し、苦小牧地域産業力強化補助金を交付しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域産業支援事業 財団が取り組んでいる各種支援制度について、リーフレットを作成し、商工会議所の会員に送付するなど積極的な周知活動を行い、活用促進につなげました。</li> <li>産学官金連携事業 複雑化する企業課題に対応するため、各種補助金制度の活用支援や最新の技術や制度の情報収集・共有に努め、産学官金の連携を強化した企業支援に取り組みました。</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		説明会参加企業数			社	10	9	11	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●			財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化につながりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。			
効率性		●				豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、市内中小企業の効率的な支援につながることから「4」としました。			
公平性		●				苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		引き続き、財団の利活用や産学官金連携事業を推進してまいります。						事業終了の 予定の有無	
								無	
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010112

事業名		地方創生地域コミュニティ活性化支援事業		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	29,149	15,143	16,450				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	27,600	15,143				14,800
		一般財源	1,549					1,650
	人件費(B)	3,601	3,601	3,601				
	事業費計(A+B)	32,750	18,744	20,051				
事業の目的		地域完結型のポイントを活用することにより本市地域内での消費活動を循環させることで、本市経済の活性化を図ることを目的としています。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。</p> <p>とまチョップポイントサービスの実施主体は、令和2年度から㈱オーティスが運営を担っております。</p> <p>1 実施主体の業務                      (1) 加盟店の開発                      (2) 加盟店に対するフォローアップ                      (3) 加盟店や市が発行したポイントの管理・精算                      (4) 利用促進のためのイベントの企画・運営                      (5) ポイントシステムの導入                      【令和6年度補助】 4,940千円</p> <p>2 市の取組                      (1) イベント等でのポイント発行                      (2) 広報とまこまい、ホームページ等を活用した事業の周知                      【令和6年度実績】 10,203千円</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		加盟店数（年度末時点）		店	152	151	163	
		カード発行枚数（累計）		枚	62,666	63,422	63,878	
		アプリダウンロード数（累計）		件	7,980	10,889	12,986	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性				●	加盟店舗は創業サポート事業の補助要件としたため増加したが、当初目標件数に及ばないことや、加盟店によるポイント流通量の減少が続いているため「2」としました。			
効率性				●	スタンプラリーやヘルスケアなど、様々な取組を実施していますが、目標数値を達成できていない状況が続いているため「2」としました。			
公平性		●			老若男女問わず全市民を対象としたポイントサービスのため「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		令和6年度の戦略的事業点検において事業廃止と判断されたことに伴い、令和7年度はユーザーが保有している未使用ポイントが加盟店に還元されるよう、ポイントの利用促進に取り組み事業を終えたいと考えております。今後につきましては、現在のアプリ機能の活用も含めて検討してまいります。					事業終了の 予定の有無	
							有 (令和7年度)	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010113

事業名		とまなか産業発展・創出事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	3,800	3,800	3,800			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	3,600	3,600				3,400
		一般財源	200	200				400
	人件費(B)	144	144	144				
	事業費計(A+B)	3,944	3,944	3,944				
事業の目的	<p>苫小牧工業高等専門学校と締結した「連携及び協力に関する協定」をもとに、苫小牧高専と協働で中小企業等が抱える課題の解決や、新規事業化の支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。</p>							
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> </div> <p>C-base運営協議会負担金 平成30年10月に開設した、苫小牧市、苫小牧高等工業専門学校、苫小牧商工会議所で運営する技術経営相談窓口「C-base」では、苫小牧高専教員（コーディネータ）が市内の各支援機関と協力しながら中小企業等が抱える課題の解決に当たっています。各支援機関の分野の異なる専門家と連携しながら、多様な課題に対応し、産業振興を図るため、C-base運営協議会へ負担金を支出しました。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	技術相談件数		件	63	72	66		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
	有効性	●			C-baseでは、市内企業の技術相談のほか、補助金の申請支援、転職等に関する相談を通して産業の振興に寄与したことから「4」としました。			
	効率性	●			市、苫小牧高専、商工会議所が市内企業の技術相談窓口であるC-baseを協力して運営しており、効率的に中小企業の技術力向上を支援していることから「4」としました。			
公平性		●		中小企業の技術力向上を支援し、ものづくり産業の活性化を図ることは、苫小牧地域全体の産業振興に寄与することから「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	C-baseを拠点に企業の課題解決や共同研究や製品開発などにつなげていくことで、企業の技術力の向上・高度化を図ります。また、企業の交流や情報交換の場などたまり場としての活用を促進してまいります。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010114

事業名		苫小牧イノベーション活性化事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		8,065	6,804				8,065	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">A</div>
	(A) の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	7,600	6,749				7,200	
		一般財源	465	55				865	
	人件費(B)		720	720				720	
事業費計(A+B)		8,785	7,524	8,785					
事業の目的		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援し、市内において新技術等を導入する機運の醸成や産業の活性化を図ります。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等に対し、苫小牧イノベーション活性化事業補助金を交付しました。 (補助率：中小企業等3/4 大企業2/3 上限200万円)</p> <p>採択事業（4件採択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「特殊発泡スチロール製防災シェルターの性能試験」</li> <li>「漁船の船底改良による省エネルギー船の確立」</li> <li>「苫小牧無料情報誌 TOMAKOMAI LIFE の研修事業で女性の活躍を後押しする」</li> <li>「生成AIを活用した動画コンテンツ販売事業の検証実験」</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		補助事業数			件	3	5	4	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●			苫小牧地域における先進的な技術やアイデアを導入し、課題の解決や新規事業の創出を図り産業の活性化に寄与したと考えますが、即効性がある事業ではないため「3」としました。			
効率性		●				(公財)道央産業振興財団や苫小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係機関と連携し実施したことから「4」としました。			
公平性		●				事業の募集にあたり、C-baseや財団等と連携し、より多くの市内事業者へ周知を図っていきたいと考えていることや先着順ではなく、審査により採択者を決定していることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		市内産業の活性化を図る事業として目的に適った事業を実施しております。今後も、地域への波及効果が見込まれる効果的な事業を支援してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010115

事業名		苫小牧市事業承継推進事業			担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価				総合評価	
	予算・決算額(A)	2,044	2,044	2,044						
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	2,044	2,044						2,044
	人件費(B)	2,161	2,161	2,161						
事業費計(A+B)	4,205	4,205	4,205							
事業の目的		人口減少と少子高齢化に伴い、中小企業等における経営者の高齢化が進み休廃業や解散の増加が予想されることから、中小企業等における事業承継を推進し、本市経済の活性化を図ることを目的としています。								
事業の内容 SDGs17の目標		<p>事業譲渡、株式譲渡などにより、親族・役員・従業員以外の第三者に経営権を譲渡し事業承継をした市内の中小・小規模事業者に対して、100万円を給付します。</p> <p>8 働きがいも経済成長も  9 産業と技術革新の基盤をつくろう </p> <p>11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任 </p> <p>《対象要件》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市内で事業を営む中小企業者等のうち、事業譲渡時に法人税の納税地が苫小牧市であった法人の経営者又は市内に住居登録のある個人事業主</li> <li>法人税の納税地が苫小牧市である法人又は市内に住居登録のある個人事業主に対し、第三者承継を完了した者</li> <li>市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターからの支援を受けて事業承継を完了した者</li> <li>株式譲渡契約により事業承継を行った者は、譲渡事業者及び譲受事業者双方が市内で引き続き1年以上事業を営むこと。事業譲渡契約により事業承継を行った者は、譲受事業者が、譲渡事業者の事業を市内で引き続き1年以上営むこと。</li> <li>市税を滞納していない者（ただし、納税課と分割納付協議にて猶予中の者を含む）</li> <li>事業承継後、1年以内であること</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)					単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		給付件数			件	2	5	2		
項目評価		高 → 低			評価の理由					
		4	3	2					1	
有効性		●								実現が難しいと言われている『事業承継』という課題に着目した事業であり、令和6年度も2件の実績（予算上限）があるため、「4」としました。
効率性		●								市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センター、苫小牧商工会議所と連携している事業のため、「4」としました。
公平性		●				親族、役員、従業員承継を除く第三者承継のみを対象としていますが、「廃業を防ぐ」という目的で実施しているものであるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		市内中小企業者等の廃業を防ぐため、事業者の手続きにおける負担軽減を図りながら利用しやすい制度になるよう、今後も関係機関と協力しながら取り組んでまいります。						事業終了の 予定の有無		
								無		
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010116

事業名		ぶらっとみなと市場施設整備事業		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		10,107	9,108			2,145		<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	6,862	6,864			2,145		
		一般財源	3,245	2,244					
	人件費(B)		3,601	3,601			3,601		
事業費計(A+B)		13,708	12,709	5,746					
事業の目的		ぶらっとみなと市場は本市有数の観光拠点として、市内外の方々から広く親しまれている公共施設であることから、再整備することにより、観光拠点としての魅力向上を図ることを目的とします。							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>8 成長がもたらす経済成長</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>1 再整備計画策定業務 施設再整備の技術的手法を検討するとともに、整備にあたり民間活力の導入について、その手法や可能性の検討を実施しました。</p> <p>2 施設整備に係る業務 バリアフリー対応トイレ案内板、身障者用駐車場看板の設置など施設整備を実施しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		来場者数（組合による集計値）		人	1,297,186	1,302,035	1,387,726		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				今後の再整備に向け重要となる基礎的な検討を実施できたことや、バリアフリー対応トイレ案内板の設置など来客者のための施設整備を実施し、漁港エリアの賑わい創出に寄与していることから、「4」としました。			
効率性		●				来客者の利便性向上や施設の老朽化に対応するため、適宜、修繕等の整備を実施するなど効率的な維持管理に努めていることから、「4」としました。			
公平性			●			本施設の整備は市民や観光客など広範に利益が及ぶものの、本施設は市内の商店街のうち、ぶらっとみなと市場を運営する「商業協同組合苫小牧港市場」の一人だけへの貸付施設であることを踏まえ、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本施設は、漁港エリアを代表する商業施設として市内外からの認知度も高く、今後も地元住民や観光客など多くの誘客が見込める施設の一方で、建物や設備等の老朽化が進んでいることから、快適で魅力ある空間の創出に向けた再整備を推進していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010201

事業名		苫小牧港管理組合負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧港管理組合同規約							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	751,550	751,550	805,045				<div style="font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	751,550	751,550					805,045
	人件費(B)	10,083	10,083	10,083					
事業費計(A+B)	761,633	761,633	815,128						
事業の目的		苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合同規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。							
事業の内容		SDGs17の目標   <ul style="list-style-type: none"> <li>・東港区周文ふ頭複合一貫輸送ターミナルにおける岸壁等の整備（機能強化・緊急物資輸送）</li> <li>・西地区汐見地区における岸壁等の改良（機能強化）</li> <li>・西港区の航路埋没浚渫（老朽化対策）</li> <li>・本港地区内の埠頭間道路の整備</li> <li>・西港区元町地区及び勇払浜地区における離岸堤の改良（老朽化対策）</li> <li>・東ふ頭、中央北ふ頭、中央南ふ頭における岸壁等の改良（老朽化対策）</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	取扱貨物量（外貿）		千 t	15,791	16,322	16,144			
	取扱貨物量（内貿）		千 t	92,263	84,958	83,897			
	取扱貨物量（合計）		千 t	108,054	101,280	100,041			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						港湾整備・管理運営により、苫小牧市・北海道の発展に大きく貢献していますので「4」としました。	
	効率性	●						効率的な港湾整備・管理運営が実施できていますので「4」としました。	
公平性	●				公平性を保つよう十分に努めていますので「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道・本州間における国内物流の機能強化や安定性確保に向けた整備が必要であり、国と連携して周文ふ頭の複合一貫輸送ターミナルの整備を推進します。</li> <li>・国際コンテナターミナルの機能強化に向けて、利用者ニーズを把握し、指定管理者や関係者と連携して取り組みます。</li> <li>・次世代エネルギー（水素・アンモニア等）の輸送や利活用など、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化などを通じて、温室効果ガス排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポートの形成を目指します。</li> </ul>				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010202

事業名		企業立地振興条例助成		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧市企業立地振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	352,123	346,723	136,049				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	167,091	169,108					32,400
		一般財源	185,032	177,615					103,649
	人件費(B)	4,321	4,321	4,321					
事業費計(A+B)	356,444	351,044	140,370						
事業の目的	事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成しました。 ※ 3年間に分割して交付します。</li> <li>2 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円助成しました。</li> <li>3 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成しました。</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	事業場設置助成金		千円	233,412	308,710	335,253			
	雇用助成金		千円	13,800	11,400	4,200			
	緑化助成金		千円	0	2,499	10,000			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●				数多くの企業に活用いただいていますので、「4」としました。			
	効率性	●				企業立地振興条例に基づいた助成を実施していますので、「4」としました。			
公平性	●				企業立地振興条例に基づいた助成を実施しており、進出企業への周知を行っていますので「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	各項目評価のとおり、多くの企業に活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出につながっています。 今後も進出企業へ積極的なPRを図っていくとともに、経済動向に合わせ、制度の見直しを検討していきます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010203

事業名		苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	11,000	11,000	1,500			B		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	11,000	11,000				1,500	
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440					
	事業費計(A+B)	12,440	12,440	2,940					
事業の目的	市民や地元企業などに対して、CCUS（二酸化炭素・回収・有効利用・貯留）・カーボンリサイクルに係る実証試験等のプロジェクトや関連産業に対する地元誘致に対する理解と機運の醸成を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div>  </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>事業の進捗状況や活動等について掲載した機関紙「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信Vol.15」を発行しました。</li> <li>市庁舎に設置したモニターでCO2圧入量等の情報公開を行ったほか、パネル展等への後援・協力を行いました。</li> <li>ゼロカーボングランドデザイン検討部会等を開催し、本市の産業部門におけるグランドデザインを策定しました。</li> <li>関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査(株)、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体68,840名、苫小牧ブース約200名（名刺交換）</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)				単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	CCS講演会「地球温暖化とCCS」			人	180	190	180		
	子ども実験教室・夏休み宿題教室			人	0	102	134		
	現場視察会			人	20	39	21		
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●				国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため「4」としました。			
	効率性		●			ゼロカーボングランドデザイン検討部会等を開催し、会員、関係企業・団体と連携を図りながら活動を行っておりますが、より密に連携を行う必要があるため「3」としました。			
公平性		●			モニターを活用した情報公開や、事業の進捗状況や活動内容などを掲載した機関紙の発行など、情報発信・広報周知活動に努めておりますが、今後より広く周知を行う必要があるため「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり目的に沿った活動を実施できています。国内外合せて、脱炭素やCCUS関連の事業が動き出しているため、今後も、事業展開に関連した情報収集等に努め、国や関係機関、地元企業等と連携し、更なるプロジェクト誘致に繋がるよう活動を継続してまいります。						事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費 項 01商工費 目 02企業立地推進費 事務事業番号 07010204

事業名		立地企業サポート事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧市立地企業サポート事業補助金交付要綱							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	51,393	43,021	57,883				A	
	(A)の内訳	国道支出金	6,475	4,820					10,000
		地方債							
		その他	44,918	36,578					43,000
		一般財源		1,623					4,883
	人件費(B)	4,321	4,321	4,321					
事業費計(A+B)	55,714	47,342	62,204						
事業の目的	雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費、設備投資に対して補助を行いました。また、ゼロカーボン実現のためのコンサルティング支援を行い、ゼロカーボン促進への機運醸成に向けた事業を実施しています。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	展示会や商談会への出展経費等の補助件数		件	9	12	6			
	合同就職説明会等への参加法人数		社	50	29	30			
	労働環境の改善等のための経費の補助件数		件	39	16	26			
	ゼロカーボン実現のための設備投資への補助件数		件	-	6	6			
	ゼロカーボン支援コンサルティング活用件数		件	-	26	25			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						人材確保への支援や雇用環境改善に繋がるよう周知を行い、多くの企業へ補助を行いましたので、「4」としました。	
	効率性		●					これまで、補助上限額を設定するなど、より多くの企業に事業を活用いただけるよう制度の見直しを行うなど、効率化を図りながら事業を実施している状況にあることから「3」としました。	
公平性	●				事前に十分な広報を行い、補助対象企業は選定委員会により決定するなど、公平性を図り事業を実施したため「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり、おおむね目的に適した事業展開ができていますが、より効果的な事業とするため、事業の認知度向上につながる取組を実施していきます。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直ししながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。					事業終了の 予定の有無			
特記事項	無								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010205

事業名		苦小牧港PR促進事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課			
根拠法令		苦小牧港PR促進事業補助要綱						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000			A	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	1,000	1,000				1,000
	人件費(B)	720	720	720				
事業費計(A+B)	1,720	1,720	1,720					
事業の目的	<p>「みなとオアシス」の区域並びに施設を一体的に利用し、地域の賑わいを創出する住民参加型の取組を推進するため、関係機関や市民との連携を図るとともに、関連事業活動の継続性の確保と支援を行い、港湾都市「苦小牧」の活性化に寄与することを目的とします。</p>							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>【みなとオアシス苦小牧運営協議会としての事業】※苦小牧港PR促進事業分</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>みなとオアシスSea級グルメ全国大会in境港への出店</li> <li>PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>親水空間の美化による魅力向上のため、花壇へ花苗の植え付けを実施</li> <li>港に親しむ機会の創出のため、キラキラ公園にて子供を対象にした写生会を実施</li> <li>港を知り、港に親しむことを目的に、港周辺にて説明を伴ったウォーキングイベントとフェリー船内見学会を実施</li> <li>写生会の作品を苦小牧西港フェリーターミナルにて展示</li> <li>協議会活動のPRのため、とまこまいスケートまつりに出店</li> </ul> </li> </ol>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	Sea級グルメブース来場者(販売食数)		人	1,737	1,337	443		
項目評価	高 → 低			評価の理由				
	4	3	2	1				
有効性	●				みなとオアシスSea級グルメ全国大会に参加し、広く港湾都市苦小牧のPRを実施したため、「4」としました。			
効率性	●				みなとオアシスSea級グルメ全国大会への参加や各種PR事業を様々な内容で実施したため「4」としました。			
公平性		●			多くの市民・団体等と連携しながら事業展開をしておりますが、更なる市民周知、関係先の拡大が図れることから「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	今後も「みなとオアシス苦小牧運営協議会」の活動に対する支援を通じ、交流人口や観光客等の増加を図り、苦小牧港のさらなる魅力発信や賑わいの創出を図ります。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010206

事業名		テクノセンター機器整備事業		担当部署	産業経済部 テクノセンター				
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	12,151	11,963	21,936				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							21,010
		一般財源	12,151	11,963					926
	人件費(B)	20,041	20,041	20,041					
事業費計(A+B)	32,192	32,004	41,977						
事業の目的		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器および設備を整備し、その充実を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業支援を図るためには、継続的に基盤整備が必要であることから、老朽化した既存機器の更新や最新の技術水準に対応した機器の新規導入を計画的に進めております。</p> <p>事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 設備機器の操作法指導及び利用開放を行っております。</li> <li>2 企業からの依頼による材料試験、検査等を行い、成績書を発行しております。</li> <li>3 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。</li> <li>4 技術研修会や技術講習会を随時開催しております。</li> </ol>							
		<p>精密高速旋盤（令和6年度新規導入機器）</p>							
		実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		機器利用・依頼試験		件	1,612	3,029	4,299		
		技術相談・技術指導		回	98	90	103		
		技術研修会・技術講演会参加者		人	132	213	144		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				令和6年度における企業による機器利用や依頼試験は4,000件を超え、企業ニーズに応じていると評価できますので、「4」としました。			
効率性			●			設備機器が高額化している状況にあるため、「3」としました。			
公平性		●				利用者から使用料又は手数料を納めていただき、受益者負担としているので、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		地域企業においては、人材不足感が高まるなか、競争力強化のための技術力向上や生産技術の高度化が必要となっており、より一層の技術支援や最新設備の充実がテクノセンターに求められています。一方、設備機器の高機能化に伴い導入費用も高額化していることから、各種補助金なども活用します。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010207

事業名		苫小牧クルーズ振興協議会補助		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧クルーズ振興協議会補助金交付要綱							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,000	1,000				1,000	
	人件費(B)	720	720	720					
事業費計(A+B)	1,720	1,720	1,720						
事業の目的		苫小牧港に入港するクルーズ船の歓迎体制を構築することにより、クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の入港に繋げるとともに、苫小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与することを目的とします。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>【苫小牧クルーズ振興協議会として実施した事業】</p> <p>1 クルーズ船入港時における受入対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年9月の「飛鳥II」寄港に際し、歓迎行事等を行い、賑わい作りを実施しました。</li> <li>船長への表敬訪問、市民向け船内見学会、「TOMAKOMAI MIRAI FEST 2024」との連携などを行いました。</li> <li>苫小牧発着ツアーに乗船する苫小牧市民に対し、1人あたり2万円の助成を行いました。</li> </ul> <p>2 クルーズ船誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ船誘致活動に向けた船社及び旅行代理店等に対する継続的な訪問活動の実施</li> <li>○R6年度実績 ー 日本籍船社訪問：2社／外国籍船社訪問：2社／旅行代理店：1社</li> </ul> <p>3 地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白老港と連携した受入対応に係る企画・運営の実施</li> <li>官学連携によるおもてなし体制の構築</li> </ul> <p>4 他港湾への視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神戸港、青森港</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		クルーズ船入港回数		回	0	2	2		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				「飛鳥II」の入出港時に賑わい創出を行い、また、更なるクルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を実施したため「4」としました。			
効率性		●				「飛鳥II」の入出港時に賑わい創出を4回、クルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を4社へ実施したため「4」としました。			
公平性			●			多くの市民と連携しながら事業展開を図りましたが、市民へのツアー助成については検討の余地があることから「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		関係部局との連携強化や積極的な情報収集等により、地域の安全・安心とスムーズなクルーズ船の入港に配慮した受入体制の構築を目指します。その上で、関係団体と連携し、クルーズ船入港時における歓迎体制の充実化と、地域の潜在的なクルーズコンテンツの魅力の発見などに取り組み、苫小牧港の魅力発信と地域振興に努めます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

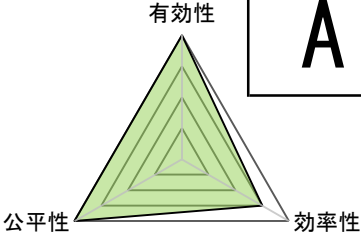

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010208

事業名		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金		担当部署	産業経済部 テクノセンター			
根拠法令		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	1,717	1,483	1,243			A	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	1,717	1,483				1,243
		一般財源						
	人件費(B)	1,798	1,798	1,798				
事業費計(A+B)	3,515	3,281	3,041					
事業の目的	テクノセンターの自立的な企業支援体制を構築するために、令和元年度経済産業省地域イノベーション基盤整備事業にて導入した機器の利用料および手数料収入の一部を、将来の機器整備等に要する費用の財源に充てます。							
事業の内容 SDGs17の目標	  <p>令和5年度末基金残高 3,085,452円 令和6年度基金積立金 1,483,996円 令和6年度基金取崩し額 0円 令和6年度末基金残高 4,569,448円</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	基金の年度末残高		千円	1,848	3,085	4,569		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						地域企業の工業技術の高度化促進のために必要な測定機器等の整備に要する費用の財源に充てる事業なので、「4」としました。
	効率性		●					10年程度の積立期間を想定しているのに対して、近年は導入を検討している機器等の価格が高額化する状況にあるため、「3」としました。
公平性	●			財源はテクノセンター使用料および手数料から充当しており、受益者負担としているため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	地域企業においては、競争力強化のための技術的向上や生産技術の高度化が必要となっており、より一層の技術支援や最新設備の充実がテクノセンターに求められております。一方でテクノセンターに導入すべき設備機器も年々高額化していることから、本事業の他に各種補助金などの活用も検討します。					事業終了の 予定の有無		
						無		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010209

事業名		次世代半導体関連企業PR事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	5,619	5,549	6,191			A	
	(A)の内訳	国道支出金						2,000
		地方債						
		その他						
		一般財源	5,619	5,549				4,191
	人件費(B)	3,601	3,601	3,601				
事業費計(A+B)	9,220	9,150	9,792					
事業の目的	次世代半導体工場（ラピダス）の立地に伴い、関連企業に対し戦略的かつ実効性の高い誘致活動を展開していくため、進出拠点の候補地としての認知度向上及び企業進出の可能性を高める取組を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標	<p>令和6年度は、次世代半導体工場ラピダスの立地を契機に、半導体関連企業に対し、進出拠点の候補地としての認知度向上、及び企業進出の可能性を調査し、その可能性を高めることを目的とした事業を展開しました。</p> <p>■ 関連企業進出意向調査事業 進出を検討する企業数や進出に伴う要望や条件、期待など企業ニーズの把握を行うための意向調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進出意向調査票の作成・送付</li> <li>PRパンフレットの作成・送付</li> </ul> <p>■ 関連企業向けPR事業 企業に対する働きかけを積極的に行う必要があるため、今後の投資可能性が高い誘致対象となり得る関連企業に対し多角的なPRを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連企業へのメール広告配信</li> <li>電子デバイス産業新聞（紙面・web）への広告及びタイアップ記事掲載</li> <li>電子デバイスフォーラムへの出展</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	進出意向調査票及びPRパンフレットの送付			件	-	2,000	2,000	
	半導体関連企業へのメール広告の送付			件	-	-	20,000	
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●				進出意向のある企業へ、トップセールスを含む企業訪問による市のPRを実施したことで、企業進出の可能性を高めたことから「4」としました。		
	効率性	●				企業の進出により、人口・税収・雇用の増加などの地域経済活性化、地元企業への波及効果といった大きな効果が見込まれることから「4」としました。		
公平性	●				全国に本市の情報を発信し、企業誘致を進めており、企業が立地することにより、税収や雇用が増加することで、市全体の利益となると考えられることから「4」としました			
事業の課題 今後の方向性	今後の方向性については、単年の事業では効果が見込めないことから、継続して関連企業等へのPR事業を実施するほか、積極的な企業訪問や企業誘致活動を実施し、PRの強化を図ります。また、進出意向調査において関心があつた企業を中心に、本市の立地優位性を認識できる視察ツアーや地元企業との交流会を開催するなど、企業進出を促進する事業を展開していく予定です。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								


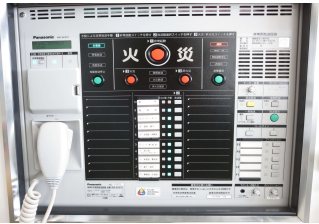
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010210

事業名		テクノセンター施設整備事業		担当部署	産業経済部 テクノセンター		
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>B</b>	
	予算・決算額(A)	2,855	2,855	-			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	2,855	2,855			-
	人件費(B)	2,295	2,295	-			
事業費計(A+B)	5,150	5,150	-				
事業の目的	テクノセンターの利用者の安全を確保するため、施設設備の老朽化に伴う更新を行います。						
事業の内容  SDGs17の目標    	<p>1 消防法で設置が義務付けられている、火災発生時の自動および手動非常放送設備を更新しました。</p> <p>2 テクノセンターエレベータ非常用バッテリーの交換 停電時にエレベータのかごを最寄りの階まで作動させる際に必要となる非常用バッテリーを交換しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <span>→</span>  </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>非常放送設備機材（交換前）</span> <span>（交換後）</span> </p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	技術相談・技術指導		回	98	90	103	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			老朽化が進み危険な状態となっていた非常放送設備機材、およびエレベータ非常用バッテリーの交換工事を行い、地域企業および利用者の安全・安心を確保できたことから、「4」としました。		
	効率性		●		交付金を有効に活用したものの、老朽化した施設は今後も継続的な補修工事が必要となるため、「3」としました。		
公平性		●		全てのテクノセンター利用者にとっての安全・安心を確保できたことから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	本事業によって、テクノセンターをより一層安全にご利用頂ける状況となり、結果として技術支援業務を安定的に行うことが可能になったものと評価しております。今後も、交付金等の活用を検討しつつ、テクノセンター施設の修繕を適切に実施して、利用者の安全確保に努めていきたいと思っております。					事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010301

事業名		港まつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課					
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>			
	予算・決算額(A)	9,000	9,000	12,850						
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	9,000	9,000				12,850		
	人件費(B)	19,978	19,978	19,978						
事業費計(A+B)	28,978	28,978	32,828							
事業の目的		市民の郷土愛を育み、また、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的に開催する、本市夏の最大イベント「とまこまい港まつり」に要する費用の一部を助成します。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <ol style="list-style-type: none"> <li>メイン会場の中央公園（若草町）では、117の露店が立ち並び、ステージでは「よしもお笑いライブ」や「駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局」などの多彩なイベントを実施しました。</li> <li>花火大会では、単発花火やスターマインなど約1万発を打ち上げ、迫力のある光と音楽のショーを繰り広げました。</li> <li>市民おどりには22団体、マーチングフェスティバルには7団体、ポートカーニバルには6団体が参加し、中心市街地の賑わいを創出しました。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>								
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度				
		来場者数	人	300,000	320,000	344,000				
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3	2	1					
有効性		●				市外からの来場者も多く、まちの賑わい創出にもつながることから、「4」としました。				
効率性			●			一部運営の業務委託などにより、運営体制を見直しながら実施したため、「3」としました。				
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、子供から大人まで全員が楽しめるイベントであるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		現在一部運営を民間企業に業務委託し実施していますが、民間企業・団体ならではの知見やノウハウの更なる活用に向け、官民一体となって市内外の方に楽しんでいただけるイベントとなるよう、検討を行います。					事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010302

事業名		スケートまつり事業			担当部署	産業経済部 観光振興課					
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価			総合評価 <b>A</b>			
	予算・決算額(A)	6,000	6,000	7,260							
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	6,000	6,000					7,260		
	人件費(B)	12,776	12,776	12,776							
事業費計(A+B)	18,776	18,776	20,036								
事業の目的		氷都とまこまいを市内外にPRし、また、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的に開催する、本市冬の最大イベント「とまこまいスケートまつり」に要する費用の一部を助成します。									
事業の内容		<p>1 メイン会場の中央公園（若草町）では、52の露店が立ち並び、ステージでは「お笑い&amp;モノマネライブ」や「キャラクターショー」などの多彩なイベントを実施しました。また、会場内では苫小牧名物である「しばれ焼き」を販売し、肉を焼くドラム缶を設置した「しばれ焼きコーナー」は大賑わいとなりました。</p> <p>2 陸上自衛隊の協力のもと、メイン会場内に「氷のすべり台」を造るほか、関係行事としてまつりと同日にスケート大会などを行い、「氷都とまこまい」を感じるイベントを実施しました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度					
		来場者数	人	60,000	62,000	60,000					
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性	●								市外からの来場者も多く、まちの賑わい創出にもつながることから、「4」としました。		
効率性		●							一部運営の業務委託などにより、運営体制を見直しながら実施したため、「3」としました。		
公平性	●					全市民に参加・来場の機会が平等にあり、子供から大人まで全員が楽しめるイベントであるため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		現在一部運営を民間企業に業務委託し実施していますが、民間企業・団体ならではの知見やノウハウの更なる活用に向け、官民一体となって市内外の方に楽しんでいただけるイベントとなるよう、検討を行います。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010303

事業名		観光振興ビジョン推進事業		担当部署	産業経済部 観光振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	18,941	17,854	21,336			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	9,400	9,400				9,500	
		一般財源	9,541	8,454				11,836	
	人件費(B)	18,363	18,363	18,363					
	事業費計(A+B)	37,304	36,217	39,699					
事業の目的		平成28年策定の「苦小牧観光振興ビジョン」を推進し、長期的な視点からまちぐるみで観光振興に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。							
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> <li>本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進につなげました。</li> <li>スマイルジャパンオリンピック最終予選の観戦&amp;産業夜景バスツアーの開催や、本市事業者とともに道外の商談会への参加、旅行事業者への訪問など、誘客促進活動を行いました。 また、アニメツーリズム推進事業として、人気アニメ「ウマ娘 プリティーダービー」とのコラボレーションにより、苦小牧市内を周遊しながら楽しむことができるスタンプラリーを開催しました。</li> <li>苦小牧中央IC出口付近への看板設置や電柱への案内板設置により、観光案内の強化を行いました。</li> <li>国内外からの観光入込客のさらなる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。</li> <li>交流人口の増加による地域経済の活性化を目的に、各種イベントの実施に要する費用の一部を補助しました(たるまえサンフェスティバル、とまこまいコスプレフェスタ等)。</li> <li>本市を広くPRするため、市内で各種撮影が行われる際、ロケーション撮影が円滑に行われる環境を整えるなど、映像制作者への支援を行いました。</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		観光入込客数			千人	2,131	2,636	2,894	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性			●			各種事業の実施により、本市の知名度が向上し、一定程度の誘客促進につながっていることから、「3」としました。			
効率性		●				本市ならではの観光資源を活かし、市内外に向けて観光情報を発信することで、観光入込客数の増加につながっていることから、「4」としました。			
公平性		●				本市の知名度が向上し、交流人口が増加することで、地域経済の活性化につながるため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		現観光振興ビジョンの策定から約10年が経過し、観光を取り巻く状況が大きく変化しているため、令和7年中に観光振興ビジョンの改定を行い、「活力ある産業と賑わいのまち」の実現に向け、本市の観光資源を活かした様々な取組を実施します。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010304

事業名		ウトナイ交流センター施設整備事業		担当部署	産業経済部 観光振興課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>A</b>	
	予算・決算額(A)		1,304	1,304			-
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
	一般財源		1,304	1,304			
	人件費(B)		720	720			-
事業費計(A+B)		2,024	2,024	-			
事業の目的		利用者の安全を守ることを目的に、施設整備を実施します。					
事業の内容 SDGs17の目標 		ウトナイ交流センター出入口に設置している4基の自動ドアについて、経年劣化に伴う動作不良が発生したため、改修工事を実施しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●					施設整備により、利用者の安全や快適な施設利用につながるため、「4」としました。
効率性		●					保守点検の結果を受け、迅速に対応することができたため、「4」としました。
公平性		●				施設の適正な運営により、全ての利用者の安全につながるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		施設の老朽化に伴い今後も様々な改修が予想されるため、保守点検の結果を参考に計画的に施設整備を行い、施設の適正運営に努めます。				事業終了の 予定の有無  有 (令和6年度)	
特記事項							